

平成 27 年度  
**事業報告**

社会福祉法人 やまなみ会

グループホーム草原の風

## 目 次

1、はじめに	1
2、利用状況	1
3、福祉事業報告	2
4、健康管理	3
5、ホーム内外におけるトラブル対応	3
6、防災関連	3
7、職員処遇	4
巻末	添付資料①

## 1、はじめに

グループホーム利用者の半数以上が50代以上となり、高齢化が進んでいる。日中活動支援事業との連携を取りながら、利用者の方々の健康維持に努めた一年であった。利用者の方には認知症も進んでいるため市町村、医療機関、ほっと館、ご家族と相談をしながら介護認定等の手続き等を行った。

利用者の方々の体力の低下は、進んでおり、本年度だけで4名の利用者の方が入院した。利用者の方々の健康管理維持に努めた年であった。

## 2、利用状況（平成28年3月末現在）

定員27名に対し今年度（3月末）は、26名でした。現在の利用状況は以下のとおりとなります。

平均利用者数 24.08名 年間平均利用率96.32%

グループホームの利用率は、昨年より3%上回った。しかし、長期入院の為1ヶ月間の利用の無い部屋もあり、来年以降どのように対応するか関係各所へ相談の予定である。

新規利用者及び退所者の状況

新規利用者：1名 退所者：2名

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
新規											1	
退所										1	1	
利用者数	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	27	26
入院						1	1	1	1	1	2	

本年度の新規利用者様は、新規利用が1名入居であった。

又退去の理由として、私的理由による退所1名、長期入院による退所が、1名だった。

（利用実績は別紙①を参照）

利用者別年齢状況

年齢	知的		身体		精神		計	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
～30	2	1			1 (1)		2	1
31～40	3 (1)		1				3	
41～50	1		1				2	
51～60	5 (2)	3 (2)	7	3	3 (3)	1 (1)	10	4
61以上	2		3		1 (1)		2	
計							19	5

( ) 重複されている方

### 3、福祉事業報告

管理者1名 サービス管理責任者1名（兼務）世話人3名  
利用者様のニーズにもとに支援計画を作成し、地域生活をより良く過ごせる為の支援をした。社会生活を送る上での情報の提供や個々の悩みや希望などの相談といった支援に取り組んだ。

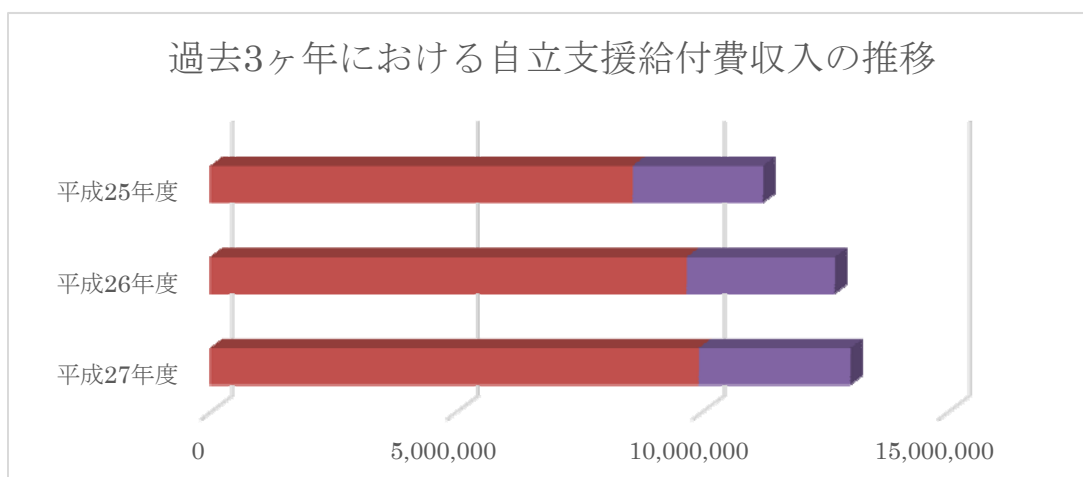
生活における身の回りの支援については、声掛けや助言をし、入浴・洗濯・掃除等の苦手な事に対してすぐに取り組むことが出来るように支援した。

金銭管理については、利用者様と十分話し合い収支のバランスを説明し金銭管理をした。

本年度は、グループホームの利用率が上がった為過去2年間と支援費の比較してみると過去最高額の増収を得た。下記の表からも約30万円程増益であった。

#### 草原の風 3ヶ年収入推移 【平成25年度～平成27年度】

	訓練等給付費	訓練等給付費	自立支援給付費合計
平成27年度	9,921,490	3,080,000	13,001,490
平成26年度	9,676,050	3,010,000	12,686,050
平成25年度	8,576,110	2,650,000	11,226,110



#### 4、健康管理

利用者様の加齢に伴う老化や病状の重度化に直面し、毎日のコミュニケーションを介して利用者の皆様の状況把握に努めた。その日の体調や精神状況の変化に気づき一日を安心して過ごせるよう支援した。医療機関との連携を行い、緊急時の対応をした。

本年度は、4名の利用者の方が入院しました。平成28年3月現在1名は、現在も入院中である。(内科：2名、外科、1名、精神科：1名)

病状の悪化による入院をされる利用者様の入院の準備から手続き及び家族の方への連絡調整を行い、術後のケアの支援を行う。

#### 5、ホーム内外におけるトラブル対応

グループホームでの生活には、ルールがあり利用者様同士対人トラブルも発生致したが、世話人と一緒に解決策を見つけながら話し合いの場を設けた。問題行動が頻繁あり、衝動的な行動の多い利用者の方に対して見守りを強化し、日中活動事業所と連携して対応した。医療機関や市町村、県警等のアドバイスを頂きトラブルの再発防止に努めた。

#### 6、防災関連

緊急時に備えて防災マニュアルをもとに非常時を回避できる様避難訓練や設備の管理、および火元の管理を致しました。毎年2回グループホームの安全確保の為に8月、2月にはホーム内の自主安全点検を行いました。点検時には、老朽化所や給湯機の破損が発見された為すぐに修繕を行った。

- ・集会等での意識向上
- ・防災マップの策定
- ・避難訓練の実施
- ・再発防止に向けたマニュアルの策定
- ・避難通路の確保
- ・消火設備の点検及び交換
- ・機械等の定期点検及び使用前点検の義務
- ・退勤時の点検
- ・非常食の確認

## 7、職員処遇

日中活動事業所と合同で職員会議を行う。グループホームでの状況報告を行い、日中活動での様子を聞取り、支援へ役立てた。又、定期の世話人会議を実施し互いに情報の伝達ミスがないようにした。

実務に役立つ各種研修や講習会にて、サービスの向上を目的として参加致した。